

研究集会 「宗谷暖流を始めとした対馬暖流系の変動メカニズム」

2016年6月30日(木) 13:00~18:00

7月 1日(金) 9:30~13:00

北海道大学 低温科学研究所 講堂(研究棟新館3階)

(低温研までのアクセスは <http://www.lowtem.hokudai.ac.jp/access.html> 参照)

【プログラム】

6月30日(木) 13:00~18:00

13:00-13:10 開会挨拶と趣旨説明

広瀬 直毅(九大応力研)・江淵 直人(北大低温研)

● セッション1 海峡力学過程・宗谷海峡

座長 市川 香

13:10-13:30 広瀬 直毅(九大応力研)

海峡力学過程の統合と解剖に関する研究計画

13:30-13:50 大島 慶一郎(北大低温研)・清水 大輔(極地研)・江淵 直人(北大低温研)・森島 秀太(川崎造船)

宗谷暖流の流量・熱塩フラックスの季節・経年変動 (further updated)

13:50-14:10 唐木 達郎(北大院環境)・三寺 史夫(北大低温研)・黒田 寛(北水研)

宗谷暖流のジェット構造の変遷過程について

14:10-14:30 佐野 稔(稚内水試)・坂東 忠男(宗谷漁協)・板谷 和彦(釧路水試)・邵 花梅・南 憲吏(北大院)・
宮下 和士(北大FSC)

宗谷岬周辺から宗谷海峡中央部における海底景観の特徴

14:30-14:40 休憩

● セッション2 津軽海峡・日本海Ⅰ

座長 千手 智晴

14:40-15:00 渡邊 修一・佐々木 建一・脇田 昌英・田中 義幸・山本 秀樹・津幡 圭介・柳谷 敏典(JAMSTEC)・
亀井 佳彦・小林 直人・齊藤 誠一(北大院水産)

2015-16年津軽海峡観測状況とその結果

15:00-15:20 若松 剛・西川 史朗・田中 裕介・石川 洋一(JAMSTEC)

海洋再解析データ FORA のダウンスケールによる高解像海峡データの作成

15:20-15:40 Haejin Kim (IGSES, Kyushu U.), Katsumi Takayama, Naoki Hirose (RIAM, Kyushu U.)

Simulation of DO in the upper layer of the East/Japan Sea using a physics-ecosystem coupled model

15:40-16:00 井上 睦夫・山下 詩央里・城谷 勇陸(金沢大)・高田 兵衛(海生研)・滝川 哲太郎(水産大)・
本多 直人(日水研)・長尾 誠也(金沢大)

日本海表層における放射性セシウム濃度の経年変動(2010-2016)

16:00-16:10 休憩

● セッション3 日本海 II・観測機器

座長 若松 剛

16:10-16:30 和川 拓・井桁 庸介（日水研）・池田 怜（新潟水海研）・三寺 史夫（北大低温研）・
阿部 祥子（日水研）・福留 研一（富山高専）
能登・佐渡沿岸域と沖合域の流れ場の変動

16:30-16:50 千手 智晴（九大応力研）・申 弘烈（公州大）
日本海大和海盆南縁で観測された深層流の数日周期変動について

16:50-17:10 滝川 哲太郎（水大校）・森本 昭彦（愛媛大沿岸セ）・久島 萌人（名大 ISEE）・市川 香（九大応力研）・
伊藤 雅（日水研）・油布 圭（九大応力研）
山陰沖陸棚上における対馬暖流流軸と内部潮汐に伴う底層水温変動

17:10-17:30 青木 茂（北大低温研）・市川 雅明（IHI）・小野 数也・深町 康・大島 慶一郎（北大低温研）・
中川 敏彦・小林 研吾（IHI）・小竹 正人（IHI-IIC）・小澤 知史（マリンワークジャパン）
オホーツク海知床沖における氷海モニタリングブイシステムの試験観測（II）

17:30-18:00 総合討論 I

19:00～ 懇親会

7月1日(金) 9:30~13:00

● **セッション4 津軽海峡・日本海 III**

座長 滝川 哲太郎

9:30-9:50 遠藤 貴洋・稲津 大祐(東大海洋アライアンス)・早稲田 卓爾(東大院新領域)・田島 芳満(東大院工)・日比谷 紀之(東大院理)

津波来襲時における湾水振動の応答特性を表す力学的指標

9:50-10:10 Sooyeon Han, Naoki Hirose (RIAM, Kyushu U.)

Finite volume modeling of channel transports for the East/Japan Sea

10:10-10:30 磯田 豊(北大院水産)

津軽海峡の流動構造

10:30-10:50 広瀬 成章・碓氷 典久・豊田 隆寛・藤井 陽介・高槻 靖・倉賀野 連(気象研)

日本海の貯熱量と海峡通過流量の関係について

10:50-11:00 休憩

● **セッション5 沿岸・対馬海峡・台湾海峡**

座長 石川 洋一

11:00-11:20 吉川 裕(京大院理)

対馬海峡における鉛直混合過程

11:20-11:40 Hong-Ryeol Shin, Jihoon Lee (Kongju National U.), Tetsutaro Takikawa (National Fisheries U.),

Naoki Hirose (RIAM, Kyushu U.)

Volume transport through the Korea/Tsushima Strait estimated from sea level difference and current data

11:40-12:00 Jae-Hun Park (Inha U.), Ye Sol Kim (Korea Hydrographic and Oceanographic Administration),

Ho Jin Lee (Korea Maritime and Ocean U.), Hee-Yeol Lee (KIOST), Ho Kyung Ha (Inha U.),

Young-Gyu Park (KIOST), Chanhyung Jeon (Inha U.), Naoki Hirose (Kyushu U.)

Internal tide-induced enhancement of the Korea Strait Bottom Cold Water intrusion

12:00-12:20 市川 香(九大応力研)・横尾 健太郎(九大総理工)・Liu C.T. (Nat. Taiwan U.)・松野 健(九大応力研)・

Chen H.W. (Central Police U.)・福留 研一(富山高専)・Doong D.J. (Nat. Cheng Kung U.)

台湾海峡通過流量の風駆動成分の分離

12:20-13:00 総合討論 II

科研基盤 A 会議 14:30-17:30